

ふかうら

No.78

6 2024年
月定例会

令和6年8月9日発行

議会だより



夏の風物詩到来！ ヨミヤ（宵宮）
キラキラした目ではしゃぐ子供たち！

▶ 2 定額減税調整給付金ほか増額 補正予算

▶ 5 ここが聞きたい！ 一般質問 2人の議員が質問

▶ 9 レポート 「議員が見て来たものは」 世界自然遺産知床ほか

▶ 10 小学生が議場を見学 修小6年生

深浦町議会チャンネル

検索



ホームページ： <https://www.town.fukaura.lg.jp/categories/bunya/gikai/>

物価高騰対策支援 低所得子育て生活支援

1世帯当たり 子供1人当たり

10万円給付 5万円給付

新たに住民税非課税
・均等割世帯対象



第1333回定例会は、6月7日から12日までの6日間の会期で開催されました。

町長から、令和6年度補正予算関係議案3件、財産の取得の件1件、報告（専決処分）7件、報告（繰越関係）3件が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決・承認しました。



問 1人当たり所得税3万円、住民税1万円合わせて4万円が減税される定額減税が今月からスタートしたが、減税しきれない方は給付となるが、昨年に所得税と住民税が非課税の方は定額減税できないので給付になるのか。

答 昨年に非課税の世帯、均等割のみの世帯については、既に物価高騰対策給付金が給付されているので、定額減税及び調整給付金の対象から除かれる。

議案第1号 一般会計補正予算

定額減税しきれない方に給付 6100万円

(定額減税調整給付金)
国の経済対策として、納税者及び同一生計配偶者又は扶養親族1人につき、4万円（令和6年分の所得税から3万円・令和6年度分の個人住民税所得割から1万円）の「定額減税」が行われます。その際、定額減税しきれない方に対しては、定額減税しきれない額を「調整給付金」として支給されます。



広戸駅駐車場整備 300万円

(町道等整備工事費)
問 広戸駅前にフェンスを設置するような計画だが、昨年度にも予算計上されていたようだが、場所はどこなのか。

答 昨年度も計上していたが、JRとの協議にもついでな時間を経、年度内の実施ができなかった。この度、JRとの協議が整ったことから補正で計上した。駅隣接用地をJRから買って車2〜3台駐車できるスペースを確保し、用地の舗装を県が行い、フェンスを町で設置することとなった。



▲広戸駅駐車場整備予定地

物価高騰対策・ 低所得子育て世帯支援

1300万円

(物価高騰対策支援給付金・低所得子育て世帯生活支援金給付)
物価高騰による支援策として、令和6年度分の住民税が、新たに非課税となる世帯並びに均等割のみの課税世帯を対象に1世帯当たり10万円、低所得子育て世帯の児童1人当たり5万円が給付されます。※令和5年度に給付になった世帯は対象外

問 それぞれ対象者が申請することとなるのか、また、支給時期はいつになるのか。

答 6月末までにシステム改修をして、対象者に対して町から通知する。転入者や未申告者については、申請していただく。第1回は8月中旬までに支給し、国の通知とおり11月末までに支給を完了したい。



緑の募金 自治会等へのお願いやめた 40万円

(緑化推進委員会補助金)
問 各自治会による緑の羽根募金のお願いが無いようだが無くなったのか。

答 長らく自治会にお願いして家庭募金として集めてきたが、自治会の負担や高齢者家庭が増えたなどの事から、町から自治会にお願いしていた家庭募金はやめた。



コロナ予防接種 3069万円

(予防接種費)
問 接種対象者と負担金はいくらになるのか。60歳未満の方は、任意で1万5300円程度とのことだが、せめて60歳未満の重症化リスクの高い方や介護福祉施設従事者等の方だけでも町で助成する考えはないのか。

答 インフルエンザワクチン接種と同様、65歳以上の方、60歳から64歳の心臓、腎臓、呼吸器に障害がある重症化リスクが高い方を対象としている。自己負担は2千円程度と見ている。また、60歳未満の方へのワクチン接種費用助成については、インフルエンザワクチン接種と同様と考えて助成は考えていない。



わが町の ここが聞きたい

第133回定例会

一般質問

6月11日に一般質問が行われ、2人の議員が町政全般について質問しました。編集の都合により、掲載は実際の質問順とは異なりますので御了承願います。また、質問と答弁は、議会広報編集委員会が要約しています。

建物や敷地内の禁煙は守られているのか



大高 議員 「町職員に午前午後の休憩時間を」 など 6ページから

目指す観光戦略は持続可能な観光を確立すべき



ほか「深浦診療所はどうなるのか」 8ページ

今
議員



一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に行政財政の運営や現行の政策、将来に対する方針などについて考えを質し、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。



第133回定例会 上程議案と採決状況一覧

上程議案・概要・結果	結 果	八 木 史	七 戸 仁	福 沢 秀 己	大 川 清 光	岩 谷 司	岩 根 環	今 勝 吉	大 高 恒 藏	藤 田 一 則	工 藤 博 利	七 戸 均	齋 藤 登
○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長(齋藤登)は採決に加わらない。													
令和6年度 補正予算議案													
議案第1号 一般会計補正予算(1回目)※歳出の主なもの、P2~3参照 歳入歳出1億1045万4千円を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 国民健康保険事業特別会計補正予算(1回目)【事業勘定】 マイナンバーカードと保険証の一体化に伴うシステム改修114万7千円追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 下水道事業会計補正予算(1回目) 人件費の減額と町債発行見込み額の増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他の議案													
議案第4号 財産の取得の件(ロータリ除雪車) 小型ロータリ除雪車(除雪幅1.5メートル)1台 34,914,000円 契約業者 (株)青工 五所川原支店	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告													
報告第1号 専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件 (令和5年度一般会計補正予算(11回目)) 年度末に特別地方交付税、国庫支出金、町債などの額の確定等に伴う 歳入歳出の整理(1億1464万4千円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第2号 専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件 (令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(5回目)) 年度末に国庫支出金の確定等に伴う歳入歳出の整理(1,753万3千円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号 専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件 (令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(4回目)) 年度末に国庫支出金の確定等に伴う歳入歳出の整理(241万8千円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号 専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件 (令和5年度介護保険特別会計補正予算(4回目)) 年度末に国庫支出金の確定等に伴う歳入歳出の整理(6179万円を減額)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第5号 専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件 (町税条例の一部改正) 大規模災害時の職権による減免規定の追加ほか、地方税法等の一部改正に伴う改正	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第6号 専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件 (地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例 の一部改正) 地方再生法第17条の6の地方公共団体等を定める省令の一部改正に伴 う改正(適用期限を2年延長)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第7号 専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件 (特別災害による被害者に対する町税減免の特別措置に関する 条例の一部改正) 地方税の一部改正に伴う減免事由等の改正	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第8号 令和5年度一般会計繰越明許費繰越計算書報告の件 岩崎支所改修ほか24事業の総額9億5877万1千円を繰越	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第9号 令和5年度一般会計事故繰越繰越計算書報告の件 風合瀬漁港ほか3事業の総額5億4730万6千5百円を繰越	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第10号 令和5年度水道事業会計繰越計算書報告の件 風合瀬配水池までの送配水管敷設及び送水ポンプ場、配水池整備ほか1 事業の総額6068万5380円を繰越	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



議案審議等の動画
が視聴できます。

つぶやき
モヤモヤした気持ち
敷地内禁煙調査を
やるべき



禁煙対策 建物や敷地内の禁煙は 守られているのか

問

答 守られているものと考えている



おお たか つね ぞう
大高 恒藏 議員

問 大高議員
①未成年者への禁煙対策の状況は。
②今まで禁煙講習会など開催したのか。また、今後どんな対策を考えているのか。
③町関連の建物や敷地内での禁煙は守られているのか。また、調査したことがあるか。

答 町長
①令和5年度に深浦・修道小学校の4年生といわさき小学校の6年生を対象に、喫煙予防教室を開催した。高校生には、今年度から喫煙予防のリーフレットを送る予定。



②現在、一般の方々を対象とした講習会は開催していないが、妊婦面談や特定保健指導で喫煙防止を呼びかけているほか、毎年5月を町独自の「たばこ対策強化月間」とし、広報で禁煙普及啓発を行っている。また、今後は、健診会場や妊産婦の各種手続きの際や、禁煙外来治療費助成のPR等で、喫煙防止、禁煙支援を進めていく。



町職員の勤務時間
午前午後
に休憩時間
を設定すべきでは
『現状の取扱いを変更
する考えはない』

問 大高議員
午前午後それぞれ4時間近く勤務するのは大変だと思つので、午前15分、午後15分の休憩時間を設定すべきと思うが。

答 町長
仮に、1日当たりの勤務時間を現状と同等に確保しつつ、勤務義務を課さない休憩時間を新たに設けるとした場合、その分、始業時間を早めたり、終業時間を遅らせる対応が必要と思われることから、現状の取扱いを変更する考えはない。



大規模災害時の対応
各地区に備蓄してい
るものは

『非常食と飲料水を
基本に備蓄している』

問 大高議員
①各地区に備蓄しているものは。
②女性用や妊婦用、乳児用の備蓄はあるのか。
③孤立集落の発生を想定して、人員・物資の輸送手段としての船舶やヘリコプター、ドローンの活用を検討すべきと思うが。



答 町長

①現在、1か所当たり、非常食を48食分、飲料水(2リットル)6本を基本に備蓄しているほか、役場本庁舎、岩崎支所、町民体育館、北金ヶ沢防災センターに、それぞれ380食分の非常食と、2リットル入りの飲用水50本前後を備蓄している。また、町内の日用品小売店と協定をして、飲料水や食料品が迅速に供給してもらえる態勢を整えている。

②女性用生理用品や乳幼児、高齢者用おむつなどがある。町民体育館、岩崎支所、北金ヶ沢防災センターに、それぞれ一定量備蓄している。また、健康推進課では、液体ミルクや使い捨て哺乳瓶を備蓄している。

③町内の土木事業者の復旧作業や消防力等での対応できない場合、自衛隊派遣や県内市町村からの支援、国土交通省が所有する各種車両、船舶の導入といった支援を躊躇せずに要請する。孤立集落で必要とする支援内容を的確に把握し、国や県、関係機関とも情報共有しながら、状況に応じた対応策を検討する中で、船舶やヘリコプターによる人員・物資の輸送を含め、住民の生命や財産を守る任務を遂行する。



能登半島地震へのお見舞い

令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

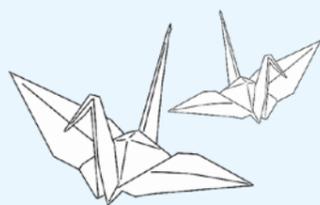
また被災地での救助活動・復旧作業に従事されている方に深く敬意を表します。

発生から半年が経過し、街では、道路の復旧が進み、お店も徐々に営業を再開はじめていますが、その一方で、がれきが撤去されていない地域や、未だに断水が続いている地域など、まだまだ多くの震災の傷跡が残っています。

被災地の一日も早い復興そして被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することを祈り申し上げます。

議会では、議員一人当たり5千円(6万円)を石川県町村議会議長会の災害義援金口座へ送金させていただきます。

この度の災害を教訓とし、町民の皆様のご生命と財産を守るため、今後も取り組んでまいります。



深浦町議会議員一同

議員が見て来たものは 発見！ 展望！ 実現！

町の中だけでは知り得ぬ多くの情報を視察で得ました。議員の行政視察を報告します。

世界自然遺産「知床」

7月2日(火)

「知床の岬に はまなすの咲く頃、知床旅情の歌詞にあるとおり、「知床」は「はまなす」というイメージだが、岬の最深部は立入禁止で、見学不可能であった。我々は、世界自然遺産「知床」の活用と環境保全の取組について、公園管理団体である知床財団より説明を受けた。今日の知床があるのは、47年前に開拓が進んだ知床をリゾート開発することなく、自然保護に舵を切った町長の英断によるものである。そして、知床財団は「自然を知り・守り・伝える」一活動として国立公園管理、生態系の保全のため、ヒグマやエゾシカにGPS首輪を付けての生態観察や、冬の海にやってくるトドの調査・研究、環境教育、施設運営、利用者サービスを行なっている。また、野生動物と人間との間で起きるかも知れない事故等を

防ぐため、行政や地域の関係機関と協力して対策を練り、現場対応を担っている。これまで培ってきた調査・保護管理活動・自然教育活動のノウハウをもとに、人材育成や教材の開発、地域住民や観光客への普及活動を行っている。昨年に白神山地が世界遺産登録30周年を迎えて、知床財団の取組を参考にし、環境保全はもとより、観光産業などの更なる活性化に努めるべきと感じた。

(大川 清光)



7月3日(水)

小清水町は、北海道東北部に位置し、4383人と当町より人口が少ない町だが、公共施設として日本初の「フェーズフリー」(日常はもちろん、非常時にも役立つ)ことができるという防災の新しい考え方で、防災拠点型複合庁舎を整備した。このきっかけは2018年の胆振東部地震(震度5強)で43時間停電したことと役場庁舎の老朽化によるもので、その後、5か年計画で「子供から高齢者まで誰もが気兼ねなく過ごせる空間づくり」を目指し、住民や議会と協議を重ねて整備に至った。

この複合庁舎は、「平時時は役場」と「ミニシティ空間」(災害時は災害対策室と一時避難所)となり、いつでも誰でも訪れやすい場所。「私の居場所」になって欲しいとの思いから「ワタシ」というネーミングにしたそうだ。また庁舎内にコインランドリーが設置されており、洗濯し



ながら「子供の世話や行政に係る用事が済ませられる」ことに、特に感銘を受けた。

当町の庁舎も建築から45年が経過していることから、10年後を見据えたフェーズフリー庁舎整備計画を進める必要があると感じた。

(長谷川 司)

小清水町防災複合施設

原子燃料サイクル施設

7月18日(木)

私たちは「六ヶ所原燃PRセンター」で日本原燃の概要を聞き、バスから「ウラン濃縮工場」と「低レベル放射性廃棄物埋設センター」(のほか、自然災害等の被害を防止する防護ネットを設置した施設を見学した。そして、また別のバスに乗り継ぎ、「高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター」などのあるエリアに入った。ここからセキュリティはさらに厳しく、身分証明等厳重な身体検査を受け、写真撮影はもちろんNG。厳重な厳重なチェック管理体制だった。かつてフランスやイギリスに委託し、返還されたガラス固化体(高レベル放射性廃棄物)が貯蔵容量2880本の内、1830本貯蔵されていた。敷地内には、使用済燃料の再処理を行う「再処理工場」と「ウラン・プルトニウム混合酸化物」

を利用してMOX燃料を作る「MOX燃料工場」が今年9月竣工に向け建設中であつた。今回の視察で、おおよその流れを理解することができた。原発は、安全性への不安と常に隣り合わせ。安全に処分することは大命題である一方、東日本大震災後の2013年に決定した原子力の新しい規制体制に適合させるべく、さまざまな対策が現在進められている。通算27回目となる工期延期が避けられるよう9月完成を願う。

(福沢 秀二)



つぶやき
「人事を尽くして天命を待つ」
心境でした



今年度の観光振興 目指す観光戦略は 持続可能な観光を確立すべき

問

答

第二次総合計画等で 構想を示している

よし かつ こん
勝吉 議員



質問者の動画が
視聴できます。

問 今議員
①今年度から目指す観光戦略の方向性は。また、今年度の数値目標と大型連休期間の十二湖周辺の出入状況は。
②積極的に地域連携DMOを活用し、プロモーション戦略や観光資源の開発で観光消費額の拡大を図り、持続可能な観光を確立するべきと思うが。

答 町長
①「深浦町第二次総合計画」等で全体的な構想を示している。また、「深浦町過疎地域持続的発展計画」で具体的な事業を掲げており、観光入込目標は、「第一次十二湖振興戦略プラン」の最終年の2026年に65万人と設定した。(昨年2023年の観光入込実績が40万352人)4月27日から5月6日までの十二湖キヨロク駐車場の利用台数は3360台(約6900人)で前年比107パーセント、またアオネ白神十二湖における宿泊客数は480名で前年比118パーセント、県内客13パーセント、県外客87パーセントの割合であつたとの報告を受けている。
②観光客に「深浦町に来てよかつ

た」と感じてもらうことはもちろんだが、満足だけでは地域経済の活性化には不十分で、大切なことはやはり「しっかりと稼ぐ」ことだと思つた。SNS等での情報発信、観光客のニーズを取り入れたコンテンツ開発など引き続き、観光協会や県、そしてDMOクランビオニー軽軌、五能線沿線連絡協議会、環白神エコツーリズム推進協議会等とも広域的な連携を図り、当町の観光産業が地域経済のけん引役となることを目指し、持続可能な観光振興に努めていく。



医師の働き方改革
地域医療に影響は
深浦診療所はどうなの

「深浦診療所には影響はない」

問 今議員
4月からの「医師の働き方改革」だが、医師不足になって地域医療に影響があるのではないか。深浦診療所はどうなのか。

答 町長
深浦診療所は、時間外勤務はないので、診療体制に影響はない。また、深浦診療所は当町唯一の医科として、住民の健康維持や疾病対応等を含めた「かかりつけ医療機関」として、さらに重要となっていく。人口減少社会でも、保健センターと連携し、医療・介護の総合的なサービスを提供する「地域包括ケアシステム」を推進していく。



※DMO=地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりの司令塔となる法人

修道小6年生が議場を見学しました!



6月25日に修道小学校の6年生10人が、校外学習の一環で議場を見学し、町議会の仕組みや議員の仕事について学びました。また、普段は入ることのできない議場で、議長席や議員席、町長席、傍聴席などに実際に座って、マイクを使った会議の雰囲気を経験しました。児童からは、音響システムについての質問やYouTube（ユーチューブ）で議会の様子を観て、議員の態度が悪いなどの声がありました。どの議員のことか気になりますが、町民の声と真摯に受け止め議員一同がんばってまいります。

表紙写真 紹介

円覚寺例大祭宵宮 に伺いました

円覚寺例大祭前日の7月16日、津軽の夏にはかかせない「ヨミヤ、(宵宮)」が行われました。円覚寺前には露店が並び、蒸し暑さの中、浴衣を着た幼児や中高生らの若者がキラキラした目で、かき氷やチョコバナナ、射的などの露店を巡り、夏の風物詩を満喫していました。



題字を書いてくれた人



ふかうら

前回より、町民参加ということで、表紙の題字「ふかうら」を町内の小中学生に書いていただきました。

ふだん書いている字より小さくてバランスがむずかかった。お昼におばあちゃんと作った焼きそばに目玉焼きをのせておいしかった。深浦の魚もおいしい。朝に食べました。

深浦小学校3年生 いおか はなこ 新岡 花子さん

議会広報編集委員会

委員長 今 勝吉
副委員長 七戸 仁
委員 大高恒藏
岩谷 司
大川清光
福沢秀己
発行責任者 斉藤 登(議長)

編集後記

皆さんがこの議会だよりを御覧になる頃には、連日盛り上げを見せるパリオリンピックも終盤に差しかかり、睡眠不足になっていませんか。また、深浦町もお盆休みで帰省した人や、観光などで大いに賑わっていることでしょう。さて、今号から編集後記のコーナーを設けました。まず1発目ということで、強制的に委員長の私から書くこととなりましたが、... 若者言葉で言う「むずい」。ライトな内容にしようと思ったんですが、どうしても真面目な性格(笑)が邪魔して、このような始末。今後は、各委員の「人間性」や「個性」などが伝わるコラム感覚になればと思っています。町広報の教育長のコーナーには到底敵いませんが、どうか温かい目で読んでいただけたら幸いです。

(今 勝吉)



発行・深浦町議会 編集・議会広報編集委員会
〒038-2324 深浦町大字深浦字苗代沢 84-2

議会の関係のお問い合わせは議会事務局まで

TEL 74-2111(代)、74-4418(直)

「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です